

# 齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

## 検索ボックス

<< 2022年07月 >>

日	月	火	水	木	金	土
					<a href="#">1</a>	<a href="#">2</a>
<a href="#">3</a>	<a href="#">4</a>	<a href="#">5</a>	<a href="#">6</a>	<a href="#">7</a>	<a href="#">8</a>	<a href="#">9</a>
<a href="#">10</a>	<a href="#">11</a>	<a href="#">12</a>	<a href="#">13</a>	<a href="#">14</a>	<a href="#">15</a>	<a href="#">16</a>
<a href="#">17</a>	<a href="#">18</a>	<a href="#">19</a>	<a href="#">20</a>	<a href="#">21</a>	<a href="#">22</a>	<a href="#">23</a>
<a href="#">24</a>	<a href="#">25</a>	<a href="#">26</a>	<a href="#">27</a>	<a href="#">28</a>	<a href="#">29</a>	<a href="#">30</a>
<a href="#">31</a>						

## 最近の記事

[\(07/22\)心不全治療薬のエンレストは万能薬か？](#)

[\(07/20\)オミクロン株の変異の猛威](#)

[\(07/19\)インフルエンザと新型コロナの同時流行の懸念](#)

[\(07/15\)C型肝炎のウイルス治療後でも肝がんの発生に注意](#)

[\(07/13\)今季のインフルエンザワクチンの推奨](#)

## 最近のコメント

[<< 妊娠中の軽度慢性高血圧の治療 | TOP | 喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソニド 本論文 >>](#)

2022年05月23日

## 喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソニド その1

### 喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソニド その1

<院内勉強用>

喘息の吸入治療薬の主役はアドエアとシムビコートです。現在は脇役も活躍していますが、喘息の治療戦略は維持療法のコントローラと、急性治療のレスキューです。アストラゼネカ社のシムビコートはコントローラとレスキューの両面に適応があり、本院でも頻用しています。

今回そのアストラゼネカから新たなレスキューとして、短時間作用β刺激薬のアルブテノールとステロイド薬のブデソニドの合剤の試験が、雑誌NEJMに発表されています。

混乱をしないために予備知識として

- 短時間作用β刺激薬（SABA）のアルブテノールはアメリカでの用語で、日本ではサルブタモールで商品名はサルタノール、又はベネトリンです。
- アドエアとシムビコートは長時間作用β刺激薬（LABA）+ステロイド薬の合剤です。アドエアは、サルメテロール（商品名はセレベントでサルタノールではありません）+フルチカゾン（フルタイド）シムビコートは、ホルメテロール+ブデソニド（パルミコート）ホルメテロールは量を増やせばそれなりに効果が高まりますが、サルメテロールは量を増やしても効果は増加しません。ステロイド薬のフルチカゾンの方がブデソニドより作用が強力です。以上のことから、シムビコートは漸増することが可能であるため、レスキューとしても

[オミクロン株の変異の猛威](#) by (07/21)

[オミクロン株でグループ症候群は起きるのです。その2](#) by (06/06)

[糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患](#) by (04/26)

[4回目の接種・イスラエルからの2つの報告](#) by (04/26)

[モデルナワクチンのブースター効果・その2](#) by (02/04)

---

## タグクラウド

---

## カテゴリ

[小児科](#)(223)

[循環器](#)(247)

[消化器・P P I](#)(147)

[感染症・衛生](#)(276)

[糖尿病](#)(128)

[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(99)

[インフルエンザ](#)(106)

[肝臓・肝炎](#)(62)

[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(51)

[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(47)

[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(32)

[ワクチン](#)(73)

[癌関係](#)(11)

[脂質異常](#)(28)

[甲状腺・副甲状腺](#)(19)

[婦人科](#)(10)

[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(41)

[熱中症](#)(7)

[日記](#)(23)

[その他](#)(80)

---

## 過去ログ

有効なのかもしれません。

- 3) SMART研究とSMART療法は、ある意味で真逆ですので注意が必要です。LABAのセレベントが発売になった時は、喘息治療の福音だと思いました。これがあつたら、あのテレサテンも助けられたのにと残念に思いました。その後アメリカの黒人を中心にセレベントの有害事象が報告され、セレベントを使用するのなら、必ず吸入ステロイドを併用しなくてはならないとお達しが出ました。それがSMART研究です。それに呼応して合剤のアドエアが登場しました。一方でSMART療法とは、シムビコートがレスキューとしても適応があるとの報告があり、シムビコートは二刀流の活躍となりました。今回はレスキュー専門の合剤の発表です。
- 4) 喘息発作は津波のように2回襲ってくると言われています。1回目の発作はSABAで対応できますが、喘息は炎症のため2回目の発作に対してはステロイド薬が必須です。そのため今回のSABA+ステロイド薬の合剤は、レスキューとして期待されます。

私見)

本日はこれでタイムオーバーです。

久しぶりに仲間と養老川にスケッチに出かけ、ゆったりとした気分になりました。

明日は気合を入れて、本論文に関してブログ作成します。

[1 smart 研究.pdf](#)

[2 smart療法.pdf](#)

[2022年07月](#)(10)  
[2022年06月](#)(15)  
[2022年05月](#)(15)  
[2022年04月](#)(14)  
[2022年03月](#)(15)  
[2022年02月](#)(14)  
[2022年01月](#)(16)  
[2021年12月](#)(14)  
[2021年11月](#)(17)  
[2021年10月](#)(17)  
[2021年09月](#)(13)  
[2021年08月](#)(16)  
[2021年07月](#)(12)  
[2021年06月](#)(16)  
[2021年05月](#)(16)  
[2021年04月](#)(14)  
[2021年03月](#)(18)  
[2021年02月](#)(19)  
[2021年01月](#)(16)  
[2020年12月](#)(17)  
[2020年11月](#)(15)  
[2020年10月](#)(17)  
[2020年09月](#)(19)  
[2020年08月](#)(14)  
[2020年07月](#)(17)  
[2020年06月](#)(14)  
[2020年05月](#)(21)  
[2020年04月](#)(18)  
[2020年03月](#)(18)  
[2020年02月](#)(18)  
[2020年01月](#)(19)  
[2019年12月](#)(14)  
[2019年11月](#)(15)  
[2019年10月](#)(18)  
[2019年09月](#)(18)  
[2019年08月](#)(14)  
[2019年07月](#)(14)  
[2019年06月](#)(16)  
[2019年05月](#)(14)  
[2019年04月](#)(18)  
[2019年03月](#)(19)  
[2019年02月](#)(19)

0 0  
いいね!

ツイート

ブックマーク

#### 【喘息・呼吸器・アレルギーの最新記事】

[雷雨は喘息発作を誘発する](#)  
[喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ...](#)  
[潜在性結核感染症](#)  
[急性細気管支炎](#)  
[中等症以上の喘息治療は3剤併用療法が有効...](#)

posted by 斎賀一 at 19:17 | [喘息・呼吸器・アレルギー](#)

[2019年01月](#)(15)

[2018年12月](#)(16)

[2018年11月](#)(20)

[2018年10月](#)(20)

[2018年09月](#)(18)

[2018年08月](#)(24)

[2018年07月](#)(18)

[2018年06月](#)(18)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)  
[RSS 2.0](#)

